

瞳を輝かせて
Brilliant
Eyes

黒帯目指して日々鍛錬

第16回世界寛水流空手道オープン選手権大会
小学生女子一・二年の部優勝

竹内 真帆さん（打越）



プロフィール

たけうち・まほ 平成10年生まれ。南部小学校3年生。寛水流4級。第1回全東海ウエイト制新人空手道選手権大会女子1・2年生の部優勝など各大会で活躍。

【寛水流空手】...アントニオ猪木氏が1982年に設立。三重県松阪市を本部とするNPO法人世界寛水流空手道が運営。猪木氏の本名「猪木寛至」と空手家「水谷征夫」氏の字を取って命名された。



気迫あふれる組手練習

寛 水流」は、現在数多く存在する空手の流派の一つ。今回は、寛水流拳友会三好道場に所属し、昨年10月に開催された第16回世界寛水流空手道オープン選手権大会の小学生女子一・二年の部で優勝した竹内真帆さんを紹介します。毎年10月に三重県久居市で開催されるこの大会から700人以上が参加し、会場は熱気に包まれました。竹内さんは、昨年6月のジュニア選手権大会で3位に入賞し本大会に出場。「ジュニア選手権で負けて悔しい思いをしたので、この大会では優勝目指して練習しました。自信を持って臨むことができ、優勝できてとてもうれしかったです」と振り返ります。

空手は、直接打撃するフルコンタクト空手と寸止め空手に大きく分けられます。寛水流の大会は、防具を着けて直接打撃で相手と対戦する組手ルール。「習ったことを思いきり発揮できる組手は、やりがいがあった一番好きです」と話します。そして竹内さんには、大会でいつも前に大きく立ち上がるライバルがいます。常に上位に名を連ねる同じ学年の選手。何度も対戦しましたが、まだ勝つたことがありません。しかし最近の対戦では判定での接戦に持ち込めるようになり、確実に追いついていくと実感しています。「どうしたら勝てるか、先生と一緒にライバルを想定した練習をしています。まず気持ちで絶対負けないように自分を鍛えていきたい」と闘志を燃やします。

近所に空手を習っていた友達がいたことで興味を持ち、4歳のときに三好道場に入門。そのころの道場は、まだ門下生が男の子しかいませんでしたが、すぐに空手の面白さにのめり込んでいきました。今では、常に男の子と組手練習をしているため、男女別で競われる大会ではいつもリラックスして臨めるそうです。

さらなる強化を目指して現在、毎週1回と隔週1回の三好道場での練習に加え、毎週火曜日には別の道場に通っています。入念なストレッチに始まり、気迫のこもった型や実践的な組手練習をこなす竹内さん。「練習を積んだ分強くなれます。まず6月のジュニア選手権で勝つて、また10月のオープン選手権大会で優勝したい。目標は段位を取って黒帯を締めることです」と瞳を輝かせます。

おめでとう
おたんじょうび
6月

『自転車に乗ったら止まらない』

機関車トーマスの自転車に乗った
らもう止まらないまーくん。大好きな
拓見お兄ちゃんと思いつき走り回る
んだ。人懐っこくて誰とでもすぐ友達
になれちゃうよ。ゲキレンジャーに夢
中のまーくんは「ヒーローみたいに強
くて優しい子でいてね」とお母さん。

ささに まひろ
笹谷 真央くん(上ヶ池)

父・直樹さん 母・歌織さん
平成16年6月12日生



『いろいろなお手伝いができるよ』

洗濯機と食器洗浄器のスイッチを入
れるのが日課のさらちゃん。お庭の花
の手入れのお手伝いも進んでできるん
だよ。玄関でお父さんの帰りを迎えて、
一緒に体を使った遊びをするのが
大好きなさらちゃんに「健康で思いや
りのある子になってね」とお母さん。

いとう さら
伊藤 咲来ちゃん(福谷)

父・佳則さん 母・典絵さん
平成16年6月10日生



出場者募集

【8月のお誕生日コーナー】
応募期間 7月2日から4
日まで
対象 8月生まれで3歳未
満の児
応募方法 秘書広報課へ電
話で (32)8357
6月生まれの応募は、12人
でした。

広報クイズ

次のそれぞれのグループには仲間はずれが
一つあります。仲間はずれとグループの共通
点は何でしょう。

魚 空 本 八 酒

天 候 跡 畑 笛 畿
奇 田 汽 近

【応募方法】 答え例 犬・植物) 郵便番号

住所 氏名 年齢 電話番号 広報みよし

に対する意見、感想を記入し、はがき、フ
クス、または電子メールで秘書広報課へお送
りください。正解者の中から抽選で10人に
図書券500円分をプレゼントします。

【あて先・送信先】

はがき: 〒47010295

三好町役場秘書広報課 住所の記入不要)

ファクス: ☎(34)6008

電子メール: ✉hisyokoho@town.aichi-miyoshi.lg.jp

【締め切り】 6月11日(月)必着

【5月号の正解と当選者(答え4つ)】



(全32通正解28通) 秋山北斗、加藤一枝、久
野紗侑、小柳貴大、川原恵治、近藤怜、酒井
照二、鈴木菜都美、橋本英樹、森千恵子(敬
称略)

お誕生日コーナーの応募者の中で希望する人は、お子さんの写真をひまわりネッ
トワーク「みよしTODAY」の番組の中で紹介します。

ご応募いただいた個人情報、抽選以外の目的
では使用しません。抽選後は破棄します。

協力して地域の安全を守ろう

青色防犯パトロール講習

青色回転灯を装着した自動車による防犯パトロール（青色防犯パトロール）を行うために必要な講習会が5月6日、サンアートで開かれました。各地区の自主防犯パトロール隊など10団体およそ50人が参加。講師の豊田警察署生活安全課の菅浦谷かづと和十警部補から、事前の手續きや町内犯罪の現状などの説明を受けました。参加した男性の一人は、「この活動で地域の安全に貢献できればいいなと思います」と話していました。



交通事故を減らそう

春の交通安全県民運動

春の交通安全県民運動が5月11日から20日までの10日間実施されました。愛知県は昨年、一昨年と続いて交通事故死者数が全国ワースト1位。町内では昨年中に2件の交通死亡事故と352件の人身事故が報告されました。初日の早朝から町内各地の交差点で、地区住民や交通委員、団体職員などが立哨活動を展開。歩行者や自転車、車のドライバーに、安全確認やシートベルト着用の徹底、飲酒運転撲滅などを呼び掛けました。



会員みんなで子育て支援

ファミリー・サポート・センター講習会

子育ての「手助けをしてほしい人（依頼会員）」と「手助けをしてくれる人（援助会員）」が、協力して子育て支援を行うファミリー・サポート・センター。その入会説明と講習会が5月17日に開かれました。14人の参加者は、センターのアドバイザーから組織の仕組みや手順などの説明を受けた後、保健師と尾三消防署員から援助会員の登録に必要な子どもの事故予防や心肺蘇生法の講義を受講。実際の活動について理解を深めました。



古代の遺跡に触れる体験

古窯発掘調査現地説明会

訪生字辰巳山地内で進めている遺跡発掘調査の現地説明会が5月13日に行われました。今回公開されたのは、奈良時代の3基からなる黒笹36A・B・C号窯と鎌倉時代の黒笹G98号窯。中でも36号窯は、国の重要文化財である多口瓶たこうへいが出土したといわれている窯です。およそ70人の参加者は、学芸員から古窯の歴史や特徴などの説明を受けながら熱心に質問。発掘作業の体験や出土品の復元体験などで、古代に思いをさせていました。



安心して子どもを育てるために

いきいき子育て講座

いきいき子育て講座が5月17日、みどり保育園で開かれました。講師に桜花学園大学保育学部の神田英雄教授かんだひでおを迎え50人が参加。「安心して子どもを育てるために」と題し、2歳児から小学校高学年までの時期ごとに分けて、子どもの自我や心の育ち方についての話がされました。教授自身の子育ての実体験を交えた楽しいお話に、参加者たちは時折笑い声を上げたり、うなずいたりしながら熱心に耳を傾けていました。



美しい舞や音色を堪能

5月ロビーコンサート

サンアートのロビーを会場にしたコンサートが5月17日に開かれました。今年度は毎月1回行われているこの催し。この日は、衣の里紅凜会ころもさとこうりんかいの皆さんによる会津節など7曲の吟と舞や、横井美香さんによるショパンなど4曲のピアノ演奏が披露されました。訪れたおよそ50人の観客は、ロビーに響く力強い声や流麗な舞、美しい音色を堪能。男性の一人は「初めて来ましたが、また来ようと思います」と話していました。

